

第2回学校運営協議会が行われました

秋涼の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、去る9月25日（火）に第2回学校運営協議会が行われました。全体会では、学校評価をもとにした学校の現状についての説明が行われました。

学習面に関しては、金沢市で統一された金沢型学習スタイルが定着していることなどが説明されました。

（金沢型学習スタイルとは課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学習（アクティブ・ラーニング）の重視「分かる喜び・できる喜びのある学習の重視」「好ましい人間関係に基づく学習の重視」の3つの視点を大切にした学習スタイルです。）

生徒指導に関しては、保護者アンケートにより、家庭でのあいさつの習慣がまだ十分とはいえないことが取り上げられました。しかし、子供たちのあいさつは確実に向上していること、特に低学年のあいさつがいいことを話されました。また、兼六小学校に児童の気質について、礼儀正しく、まじめな子が多い反面、たくましさにやや欠ける面があるのではないかというご意見も出されました。コミュニケーション能力の低下が非常に心配で、コミュニケーションがうまくとれない子が、不登校になりやすいのではないかというご意見も頂きました。

教員の業務適正化に関しては、保護者の皆様のご協力により、午後7時以降の電話を遠慮いただくことや午後8時には業務を終了することなどはかなり達成できたという実績が挙げられました。しかし、時間外勤務時間が、昨年度に比べ、ほとんど変わっていないという実情が報告されました。教員が元気な姿で子供たちに向き合う時間の確保という視点で、今後も取り組みを進めていきたいとのことでした。また、教員の仕事に魅力が感じられなくなり、教員を目指す人材が不足しつつある現状があり、いかに教員の仕事に魅力を感じられるものにしていくかが大切であるというご意見も頂きました。



全体会の様子

裏面にて分科会で話し合われた内容をお知らせいたします

「確かな学び」分科会

- ・募集していた人材バンクについては、今後も引き続き募集していく。
- ・テレビをずっとつけておくのではなく、食事の時間は消しておくなどメリハリをつけることも大切ではないか。
- ・新聞などの紙媒体での学習も学力向上に有効ではないか。
- ・育友会やクラスでおすすめの本を選び親子読書の際の、データーとして提供できればいいのではないか。



「心の育ち」分科会

- ・交通推進隊の方々にあいさつの良かった児童を報告してもらい、全校朝会等でほめる取り組みを今後も継続して行っていく。
- ・小将町中学のあいさつが良い。
（小将町中学校の取組は）
全校朝会での指導している。
担任の学級指導を継続している。
- ・今後の取組として、
 - 1 先生、親が元気なあいさつをする。（お手本をしっかり見せる）
 - 2 あいさつの良さ、意味を伝え指導していく。（やさしさ、感謝の気持ち）
 - 3 あいさつが良かったほめられた児童を連絡帳等で保護者にも連絡すると良い。



「体力向上」分科会

- ・学校では持久力や投げる力が不足している実態があり、学校ではマラソン練習などを通して力をつけていく予定である。
- ・地域としては場の設定などではできるが力をつけるところまではなかなかできない状況がある。
- ・今後、安全面の視点で校区を見ていく取り組みを中心に行っていく。



第3回運営協議会は平成31年1月23日に行われます。今後も協議会の様子や学校の取り組みについてコミュニケーション便りを通して、保護者・地域の皆様にお知らせします。